

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業 / 保育士)	
授業科目名：手話 英語表記：Sign Language ナンバリング：1008			単位数：1単位 (半期) 講義	担当教員名：今西理枝子 担当形態：単独
科目／系 列		／教養科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／外国語、体育以外の科目		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 手話で会話ができる。 2. 聴覚障害者を理解できる。 3. 手話について説明ができる。				
【授業の概要】 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使い伝えることを学び手話の基本を身につける。				
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】				関連性
【知識・理解・技能】				
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。				
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。				
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。				
【思考・判断・表現】				
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。				○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。				
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。				
【関心・意欲・態度】				
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。				○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。				
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。				○
【授業計画】 第1回：自己紹介をしてみようⅠ 第2回：自己紹介をしてみようⅡ 第3回：あいさつをしてみよう 第4回：手話がわからなかった時 第5回：数字や時間の表現を覚えよう 第6回：趣味のことを話そう 第7回：行きたい場所の表現方法を覚えよう 第8回：特別講義「聴覚障害者の生活」 第9回：病気やけがで困ったとき 第10回：お天気と乗り物の表現を覚えよう 第11回：買い物とお金の表現を覚えよう 第12回：ろう者の生活を知ろう 第13回：災害に関する手話を学ぼう 第14回：反対語を覚えよう 第15回：今まで学んだ手話を活かして話してみよう 定期試験：読み取り・筆記			【授業時間外の学習】 予習・復習に1時間程度の時間が必要である。 ・事前に自己紹介やあいさつの内容を考えておく。授業後は練習をする。 ・事前に自分の趣味や行きたい場所について考えておく。授業後は練習をする。 ・特別講義を踏まえて、聴覚障がい者の生活の実態について気になることを調べる。 ・天気、乗り物、買い物、お金の表現について練習する。 ・災害が起こって時に聴こえない人たちとの関わりかたについて学ぶ。 ・これまで習った手話を思い起こし、話す練習をする。	

【授業の方法】 手話演習、学んだ表現のフィードバックを行う。	
【テキスト】 今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう！」 発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟	
【参考書・参考資料等】 「私たちの手話」発行 一般財団法人全日本ろうあ連盟	
【学生に対する評価】 定期試験の成績（６０％）、実技（２０％）及び授業参画度等（２０％）を判断して評価する。 ルーブリック評価を活用する。	
【履修上の注意】 ① 手話は目で見える言語です。私語を慎み、講師の手の動き、顔の表情に集中して授業を受けること。 ② 授業中は、頭の中にある日本語の文法や音声を忘れ、手話を手話のまま受け止めることに集中する。 ③ 「わかる/わからない」といった意思表示は、目で見える形ではっきり示すこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：埼玉県通訳養成講習会、羽生市手話講習会
【実務経験を生かした教育内容】 通訳養成等の講師経験を活かし聴こえない人とのコミュニケーションができる様に指導する。	